

食品安全委員会放射性物質の食品健康影響評価に関する ワーキンググループ（第3回）の結果概要

日 時：平成23年5月12日（木）16：00～18：10

場 所：食品安全委員会中会議室

議事概要

（1）放射性物質の食品健康影響評価について

・評価を行っていく上での基本的な考え方についての合意を得た後、ウラン、プルトニウム及びアメリシウムの各アルファ核種に関し、現時点で整理された科学的知見について事務局から説明を行い、審議が進められた。

・その結果、物質としての毒性が強いことが知られているウランについては、腎毒性について検討を進めつつ、放射性物質としての健康影響と比較検討することが合意された。また、各核種の担当専門家を決めることとされ、アルファ核種の全体取りまとめ責任者である佐藤座長代理が数名の専門委員と相談の上、担当を決定することとされた。

・得られたデータには外部被曝に関するデータも含まれていることが多いため、内部被曝を検討の基礎とする食品由来の健康影響を評価するには相当な困難が伴うこと等について議論が交わされた。また、アルファ核種に属する放射性物質に関する科学的知見が乏しい（例えば、現時点におけるアメリシウム及びキュリウムに関する科学的知見については、アメリシウムについては科学文献が3報のみ、キュリウムについてはリスク評価に用いられそうな科学文献の存在も確認できていない）ことについて事務局から説明された。

・今後、各担当専門委員は「取りまとめに関する文案」を5月27日（金）までに送付することとされた。

（2）その他

・第4回ワーキンググループは、ベータ核種を中心とした審議を行うこととし、5月25日（水）10時から開催する予定。